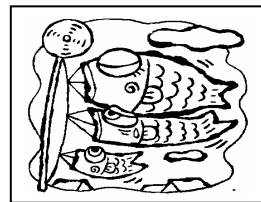


ぷらう 36号



発行：TEACCH プログラム研究会

巻頭の言葉～会長のつぶやき～

TEACCH プログラム研究会会長 内山 登紀夫
(よこはま発達クリニック)

TEACCH プログラム研究会の会員は 2000 人近くになり、支部も 14 ある。最初は 10 名たらずだったそうだから、ずいぶん大きな組織になった。一般に組織というものは構成員が減るよりは増えるほうが良いとされている。大きいことには確かにメリットもある。発言力も大きくなるし、TEACCH 部の先生を招聘したりといったお金のかかる事業もやりやすくなる。しかし、一方では大きくなったことのデメリットもある。大きくなれば、お互いの顔が見えにくくなる。本部は大組織だから、なかなか顔を見合わせて議論する場の設定は難しい。どうしても、平行に並んで同一方向を見る活動(つまり講演会など)が中心にならざるを得ない。それはそれで有用だが、顔を突き合わせて、議論したり相談したりすることの意味は大きいと思う。会員が増えたのは仲間が増えたという点では良いことだけど、直接のコミュニケーションが持ちにくいという点では、困ったことでもある。TEACCH 研はもともと支部活動から出発した。支部の会員が集まって悩みを語り合ったり、相談したり勉強会を開催したりしたことが原点だろう。私も会員になる前に、神奈川支部の会合になんとか顔を出したことがある。親と専門家が手弁当で集まって自閉症の療育や学校や職場のあり方について熱心に議論をしていた。自閉症の支援をなんとか良いものにしたいという共通の想いを強く感じた。

支部によっては、かなり大きな組織もある。ただ本部とは違って、さすがに 2000 人という規模ではないだろうから、互いに顔を見ながら肉声の届く範囲で話しあうこともできるだろう。本部、支部を問わず TEACCH 研として重要な活動の一つに講演会とか研修会などを開催し、情報や技術の伝達を行うことがある。このような情報伝達は非常に大切だが、われわれ自閉症に直接関わる専門家や親が集まっているのだから、個々の子どもたちに、どういう風に考えて、どう支援したら良かったとか、失敗したとか、そんな現場に密着した情報交換や議論をする場に TEACCH 研支部がなれば良いと思う。専門家も親も、自閉症の子どもに接するという意味では、本質的に実践者であって、理論を勉強するだけでは不十分だ。実際に頭と手足と口が動いてこそ実践ができる。実際に頭と手足を動かすには、コツとか経験とかが必要だし、自分の頭(プラン)と手足(技術)が思ったような効果をあげなかったり、頭も手足もフリーズして自信喪失したときは同僚や先輩、後輩、親御さんのアイデアや励ましが、必要だし有難い。TEACCH 研の会員は TEACCH の理念について共鳴しているわけだから、細かい点では考え方に違いがあっても大枠では同じ理念を共有している。同じ理念を共有することで、議論の質は深くなる。こういうパワーを互いに与え合う場が TEACCH 研の各支部で持てれば良いと思う。

TEACCH 研がこれだけ大きくなると本部と支部の役割の分担も変化してくるだろう。本部が大きくなった分、支部の役割は今まで以上に大きくなるような気がする。支部の役割について、これから理事会などで大いに議論していきたい。会員の皆さん、支部の役割について積極的に提案して欲しいです。



TEACCH コラボレーション セミナー 開催決定!

「TEACCH の実践をもっと詳しく具体的に学びたい」「実践をととして、TEACCH 部と直接、交流したい」という思いを実現するため、ノースカロライナの TEACCH 部からジョン・ドカティ氏をお招きしてセミナーを開催します。今回は「学校教育」に焦点を当て、ドカティ氏の講演と、事例をととしてディスカッションします。できるだけ多くの方のご参加をお待ちしています。

講師： ジョン・ドカティ 氏 (グリーンビル TEACCH センター所長)
日程： 2008 年 1 月 26 日 (土) / 27 日 (日)
会場： 京都シルクホール (地下鉄烏丸線四条駅、阪急烏丸駅 下車すぐ)
参加費： 会員 10,000 円 非会員 15,000 円

プログラム

- 講演 『TEACCH における学校教育へのアプローチ』
ドカティ氏から自閉症支援における学校教育の重要性、ノースカロライナにおける自閉症児の学校教育についてお話しいたします。
- 実践報告 『学校教育に関する実践』
TEACCH 研の会員から日本の実践を報告し、ドカティ先生にコメントをいただき、情報や意見の交換を行います。

詳細は、秋に配布するちらしまたはホームページをご覧ください。申し込み方法もその際にお知らせいたします。お見逃しなく!



TEACCH研 HP

TEACCH 研のホームページ開設以来、かなり多くの方が HP を訪れてくれ、大変うれしく思います。昨年度は会員ページに関して、十分な更新ができず、大変申し訳なく思っております。今年度は、来年 1 月に京都で行なわれる「TEACCH コラボレーションセミナー」の案内やぶらうバックナンバー(現在準備中)、支部情報も載せて、多くの方に様々な情報発信ができればと思っております。よろしくお願ひします。

ホームページアドレス www.teacchken.com
会員専用ページパスワード 4a7jsg6

会員パスワードは「ぶらう」発行ごとに変更してゆきます

第8回TEACCHプログラム研究会実践研究大会 主催支部報告

佐賀支部(理事) 服巻 繁

佐賀での本大会は、特別に地元の自閉症支援の NPO 組織であるそれいゆとの共催という形で、TEACCH 部ディレクターメジボフ教授をお招きして開催されました。準備や開催におきましては、いろいろと心配されたこともありましたが、皆様のご協力のおかげでたくさんの方に参加いただき無事に終了することができましたことを改めて御礼申し上げます。またいつもと違う変則的な時間設定や内容の変更等の不手際などでご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

大会は「親との協働」というテーマの下、メジボフ教授から TEACCH の基本に立ち返るとともに最新の自閉症研究についても学ぶことができました。実践発表では「協働」の成功例や困難例においてメジボフ教授から貴重な示唆をいただきました。それと同時に、会長の閉会挨拶でも述べられたように、当研究会から TEACCH 部への情報発信の可能性を得たという点で大変有意義な大会ではなかったと思います。メジボフ教授には大変にお疲れの中、前日夜の懇親会にも参加いただきました。各支部紹介の終わりに挨拶の冒頭で「ノースカロライナ支部のゲーリー・メジボフです！」というジョークが飛び出した際には会場は大いに盛り上がりました。“ティーチケンの世界進出!?”も夢ではないかもしれません。詳しい大会の様子は、後ほど発行されます大会録をご参照ください。

最後に佐賀支部会員の報告を紹介させていただき閉めの言葉とさせていただきたいと存じます。

佐賀支部 早川 志麻

“TEACCH プログラムのコア・バリュー”—私にとってこの大会は、これに尽きたように思う。私にとっては、自閉症について本格的に学び始めてから5年という時に、この話を聴くことができたことはどれほど価値あるものであったことだろうかと思う。

学べば学ぶほど、自閉症とは、奥が深く、実践すればするほど、自閉症支援とは、より一層の専門性が求められることを実感してきた。しかし、特性の知識や支援技術を支えるものは、“スピリット”であることを、改めて思い知らされた。

「信念や価値観を明確にし、共に大事にしていくこと」「自閉症を理解すること」「継続的に、勤勉に努力すること」「ニーズを見定め、共にその方向へ歩いていくこと」「互いの共通項を見出し、共に取り組んでいくこと」「奇跡ではなく、可能性を見据えること」メジボフ先生の口から語られる言葉は、飾りのないシンプルな、それでいて自らこれらを体現してきたゆえの荘厳さに満ちており、自分を省み、原点に立ち戻る機会と、新たな気持ちで前へ進んでいこうとする勇気をもたらした。

この5年間で私が得たものは、自閉症の人の愛おしさを感じ、彼らの可能性を信じる気持ち、そしてそれらを共有し合える仲間との出会いであった。これらを大事にしながら、「幻想なき理想」を追い求めて、今後も学び、実践を続けていきたいと思う。



第 8 回TEACCHプログラム実践研究大会に参加して

京都支部 平木 真由美

2007年2月17日・18日(土・日)の2日間、佐賀市アバンセホールで開催された第8回TEACCHプログラム研究会実践研究大会に参加してきました。

今回はそれいゆ自閉症支援専門家養成センター第5回TEACCH2デイ基礎講座との共催で、ノースカロライナ大学医学部TEACCH部部長のゲーリー・メジボブ教授から直接講義を受けることができるという魅力的な研修でした。

1日目から2日目午前中にかけて6つの講義がありました。「TEACCHプログラムのコア・バリュー」「TEACCHの歴史とジェネラリストモデル」「自閉症の学習様式」「ペアレントメンター・プログラムの開発」「自閉症研究の最新情報」「構造化による指導:知的に遅れのある人から高機能まで」と、どれをとっても基礎的な理念がちりばめられた、しかも最先端の内容で、充実したものでした。

2日目の午後からは①北九州市立総合療育センター総合通園②東京都立石神井養護学校③保護者からと、3例の実践報告がありました。①では保護者・療育センター・地域の園との協働で、地域で個別の支援を受けながら生活されている様子が伺え、すばらしい取り組みの実践発表でした。こんな事例がひとつでも増えていってくれるといいなあと思いました。②では、「保護者の連携について」をテーマに、成功例、失敗例、反省も提示されながらの実践発表でした。メジボブ先生のコメントで「連携を重視するとき、最終的な目標を達成するために、経過の中で間違った構造化でも必要なときがある」という言葉がとても印象に残りました。③は、保護者同士の輪を作り仲間とともに活動していることや、祖父母の協力、専門機関との連携など、地域での生活についての報告でした。子育てプラス新しい活動を起こしながら、周囲を巻き込みながらの実践報告を聞いていると、「元気」という大きなお土産を与えてもらった気がします。

今回の実践報告会に参加して、メジボブ先生のお話や実践報告についても、本当に実りの多い大会であったと思います。そして全国の仲間が集まり、明日から一緒にがんばろう!と思えることが何よりの成果です。これからもTEACCHの理念を大きな柱に、自閉症児・者への支援を皆さんと共にがんばっていきたいと思えた2日間でした。

TEACCH 基礎講座・実践研究会に参加して

福岡支部 小田 陽子(保護者)

例年、1～2月は冬眠するのですが、主人と子どもたちの理解と支援のおかげで、2日間勉強させていただきました。実は前日も自閉症協会佐賀県支部の研修会や、佐賀県立大和養護学校の講演会に参加させていただいたので、3日間、福岡から約1時間高速をとばし佐賀に通いました。実践報告やペアレントメンターのお話はもちろん楽しみでしたが、思わぬ収穫もありました。かねてより、TEACCHプログラムに関わっておられる先生方は、なぜこんなにも謙虚なのか、また「家族への指導や支援が大切」でもいいはずなのに、なぜ「親が協働者」なのか疑問に思っていました。詳細は書籍「TEACCHとは何か」(服巻智子・服巻繁訳)にも記載がありましたが、ベッテルハイムの時代の辛辣な親への批判を目の当たりにされたことが大きいようです。しかし、それを学術的に否定し、親が効果的に子どもを指導できることを実証していかれたプロセスの根底に、ヒューマニズムを感じました。TEACCHプログラムのフィロソフィーを知るほど、私は口が重くなり、TEACCHという言葉が安易に使えなくなっています。自分がやっていることはごく一部のメソッドを拝借しているに過ぎないのだなあ、と。そして、「協働」どころか、専門家の導きがなければ難しいと思うことばかりです。

TEACCHプログラムやそれに関わる先生方に出会って、これまで目から何枚ものウロコを落としてきたにもかかわらず、まだウロコが沢山残っているようなので、これからも学びを続けたいなと思いました。幽霊会員ですが。

実践研究大会 in 佐賀に参加して

神奈川支部 高橋 容子(大笹生学園)

今回、私にとって、実践研究大会への参加は6回目となりました。メジボフ教授の講義がたくさん聴けることを楽しみに参加しました。そして、その期待を全く裏切らない、すばらしい大会だったと思います。

1日目の講義1から講義3まででは、TEACCHプログラムの真髄を改めて認識するとともに、自分たちの取り組みが十分なされているかを振り返る絶好の機会となりました。自閉症を理解することについて「理解し、受け入れ、そして好きになること」と語られていたのが心に残りました。講義4の「ペアレントメンタープログラムの開発」というのは、私にとっての初めての内容でした。しっかりしたシステムが整えられ、実践されていくプログラムに、またも、TEACCHの素晴らしさを感じることができました。

決定的だったのは2日目です。講義「構造化による指導」を聞きながら、自分たちの取り組みの不十分さ、足りないところは何なのかに気づくことができました。私が携わっているのは、知的障がい児の施設で、TEACCHから学んだ指導を取り入れて8年になります。子どもたちにとってわかりやすい環境を提供する構造化や、コミュニケーションを大事に取り組んできた実践により、子どもたちはかなり安定した生活ができていられると思われています。しかし、ついそこに留まってしまっていないかどうか。生活する一人ひとりにとって、本当にわかりやすい、自立的に生活できるような支援を勧めていたかどうか、メジボフ教授の講義をきっかけにしていろいろ考えさせられました。

続く「自閉症研究の最新情報」や「実践報告」でも、大切なたくさんの情報を得ることができました。そして、なによりも、「次にすべきこと」を考え続けるための元気を一杯いただいて帰ってくることができました。どうもありがとうございました。

平成19年度 総会報告

日時:平成19年2月18日(日)16:20より、第8回実践研究大会終了後、佐賀県立生涯学習センターアバンセにて平成19年度の総会を行いました。

総会では新理事承認および以下の5点について会員の皆様の承認をいただきました。

*平成19年度理事及び役割(☆…新理事)

支部	H19 役割	理事氏名
常任	会長、講師招聘事業	内山 登紀夫
常任	副会長、講師招聘事業	村松 陽子
常任		新澤 伸子
常任	研修(トレセミ)	諏訪 利明☆
北海道		志村 克美
東京		岡田 祐輔
神奈川	副会長・HP	宇山 秀一
石川		谷中 美雪
愛知		中村 眞喜子
滋賀	研修(実践大会)	井上 悦子
京都	講師招聘事業	野畑 光代
大阪	研修(実践大会)	浅井 郁子
兵庫		大石 博司
鳥取	事務局	竹内 美智子
香川	広報・HP	丸岡 玲子
福岡		内田 博昭
佐賀	研修(トレセミ)	服巻 繁
熊本	広報	丸目 三奈子

- * 永年、常任理事として本会のためにご尽力いただいた藤岡宏氏、牧野恭典氏はご本人の希望により、18年度を以って退任されることになりました。
- * 総会后、兵庫支部の理事は支部の都合により奥平綾子さんから大石博司さんに代わりました。
- * 19年度の事務局は鳥取支部が引継ぎ、竹内と南前(会計担当)の2名で行うこととなりました。
- * 19年度会計監査担当は引き続き小田浩三氏(熊本支部)と岡美智子氏(京都支部)にお願いすることになりました。

19年度総会 承認事項

①:平成18年度活動報告

- 1月28日(土)平成18年度 第1回理事会(福岡)
- 1月28日(土)~29日(日) 第7回実践研究大会(福岡)
- 1月29日(日) 平成18年度 総会
- 2月 TEACCHプログラム研究会ホームページ開設
- 4月23日(日) 平成18年度 第1回総務委員会
- 5月 機関誌『ぷらう』34号発行
- 7月1日(土) 平成18年度 第2回理事会(京都)
就労支援DVD製作、支部に配布
- 8月11日(金)~13(土) トレーニングセミナー(東京)
- 10月 機関誌『ぷらう』35号発行

②:平成18年度会計報告

参照:平成18年度会計報告、特別会計積み立て金会計報告

③:平成19年度活動計画

- 2月17日(土) 平成19年度 第1回総務委員会、理事会(佐賀)
- 2月18日(日) 第8回実践研究大会(佐賀)
平成19年度 総会(佐賀)
- 4月 機関誌『ぷらう』36号発行
- 7月28日 平成19年度 第2回理事会(京都)
- 10月 機関紙『ぷらう』37号発行
- * 上記以外、必要に応じて総務委員会を開催する予定。
- * 平成20年1月26日(土)、27日(日)京都シルクホールにてTEACCH部よりジョン・ドカティ氏を招聘し、研究大会を実施する予定。

④:平成19年度予算議案

参照:平成19年度予算議案

⑤:会則の改正 (1)退会の規定と入会金徴収について

(平成18年1月29日改正)以下の条文について検討し承認された。

収入	
前年度繰越金	¥1,154,561
会費	¥1,880,000
* 別紙資料①を参照	
第5回実践大会繰上	¥374,580
第6回実践大会繰上	¥483,110
第7回実践大会繰上	¥946,282
推薦謝礼	¥20,000
TEACCHカンファレンス大会繰上	¥2,500
利息	¥131
合計	¥4,911,114
支出	
名簿及び会費管理費	¥931,400
* 内訳 ④¥400×2,173名=¥869,200 ⑤¥200×311名=¥62,200(石川支部の分)	
* 別紙資料②を参照	
通信費	¥368,740
総会資料代	¥4,763
理事会交通費	¥961,220
理事会会議費	¥17,909
総務委員会交通費	¥81,090
総務委員会会議費	¥6,000
第5回実践大会録作費	¥35,022
ホームページ制作・管理費	¥21,393
トレーニングセミナー運送費	¥200,000
第8回実践大会運送費	¥200,000
手数料(両替、振込み)	¥3,256
雑費(事務用品購入など)	¥1,710
合計	¥2,827,502

収入	
前年度繰越金	¥3,740,087
利息	¥256
合計	¥3,740,343
支出	
DVD制作費	¥178,626
講師招聘事業会場費(立替金)	¥450,200
手数料	¥1,365
合計	¥630,190

第2章

(入退会)6条

入会希望者は、所定の手続きを経て、支部に申し込まなければならない。

1. 退会希望するときは、本部事務局に通告しなければならない。
2. 1年間会費を滞納したものは退会とみなす。

第2章 6条の2 会費滞納による退会の規定については以下のとおりとする。

- ・会員には12月に次年度の会費請求を行う。
- ・未納者には督促を行う。その際に、12月31日までに納入しない場合は退会とみなすことを通知し、対応する。

第2章 6条 の「所定の手続きを経て」については以下のとおりとする。

- ・入会時(再入会を含む)に『入会金』として¥1,000を徴収する

理由:①名簿管理業務を業務委託したため、会員登録料が必要となったこと。

②退会と再入会を隔年で繰り返すことを防止するため。

改正前 会則

第2章

(入退会)第6条

入会希望するものは、所定の手続きを経て、支部に申し込まなければならない。

改正後

入会希望するものは、入会金 1,000 円と会費 3,000 円と入会申込書を添えて、支部に申し込まなければならない。

*この実施は平成19年6月1日からとすることを付記する。

⑤:会則の改正 (2)年会費値上げについて

第2章 7条(会費)について 年会費を 1,000 円値上げし 4,000 円とする。

理由:現会費では業務委託費、通信費、理事会交通費だけで赤字が出る可能性があり本部事業の運営が困難であるため。

これにともない、入会についての条文も改正となる。

改正前 会則

第6条 入会希望する者は、所定の手続きを経て、支部に申し込まなければならない。

第7条 会員は以下に示す会費を納めなければならない。

1. 年会費 3,000 円(うち 2,000 円を支部会費、1,000 円を本部会費とする)

改正後

(入退会)第6条

入会希望する者は、入会金 1,000 円と会費 4,000 円と入会申し込み書を添えて、支部に申し込まなければならない。

(会費)第7条

会員は以下に示す会費を納めなければならない。

1. 年会費 4,000 円(うち 2,000 円を支部会費、2,000 円を本部会費とする)

*この実施は平成20年1月1日からとすることを付記する。

TEACCHプログラム研究会 平成19年度予算(案)

収入

前年度繰越金	¥2,083,612
会費	¥1,544,000
※¥1,930,000×0.8	
第7回実践大会繰り上げ	¥500,000
	¥4,127,612

支出

名簿及び会費管理費	¥1,000,000
※@¥400×2,500名	
通信費	¥380,000
理事会交通費(2回)	¥900,000
理事会会費(2回)	¥30,000
総務委員会交通費	¥200,000
総務委員会会費	¥20,000
第1回講師招待事業運営費	¥200,000
第7回実践大会録制作費	¥550,000
第8回実践大会録制作費	¥550,000
予備費	¥317,612
	¥4,127,612

平成 19 年度 第 1 回理事会報告

平成 19 年度第 1 回理事会は、2 月 17 日(日)15:30 より 各支部代表理事の皆様の参加のもと、総会に先立ち、佐賀県立生涯学習センターアバンセにて行われました。
この理事会の決定事項および継続審議事項についてお知らせいたします。

1. 平成 19 年度理事及び役割の確認
 2. 平成 18 年度活動報告
 3. 平成 18 年度会計報告、特別会計報告
 4. 平成 19 年度活動計画案
 5. 平成 19 年度予算案
 6. 会則改正について(入会金徴収と年会費値上げ)
- ★1～6について承認されました。くわしくは総会報告を御覧下さい。

7:東京トレセミの報告

東京トレセミの会計報告が行われ、承認を得ました。
トレセミのトレーニー選出基準は、各支部のトレーナー育成計画の希望を反映させるかどうかは今後の継続審議となった。

8:講師招聘事業実施案について

講師招聘事業の名称は「TEACCH コラボレーションセミナー」に決まった。
日時;平成 20 年 1 月 26 日(土)、27 日(日)
会場;財団法人京都染織会館 シルクホール
講師;ジョン・ドカティー氏(グリーンビル TEACCH センター所長)
内容;講演「TEACCH における学校教育へのアプローチ」
実践報告 学校教育に関する実践4事例

9:ぶらう春号について

ぶらう 36 号(2007 年春号)に掲載する内容について決められた。

10:昨年度の各支部事業報告について

各支部が 18 年度の事業報告を作成して内山会長まで提出したものをまとめて資料として配布されて話し合いが行われた。
この報告文書をもとに支部の活動についての情報共有をこれまで以上に系統立てて行い、支部のあり方の基本方針についても今後検討していくことになった。
また各支部会計報告についても 19 年度から会長まで提出することになった。

10:その他

1. 土倉事務所との手続きについて
土倉事務所の手続き方法 2 年目の年間計画のお知らせをした。
2. 会員の年度内の支部移動については以下のように承認されました。
会員は転居など様々な理由により支部を移動するときは、支部事務局に連絡して移動すること。支部事務局は本部事務局と土倉事務所の 2 箇所はその旨連絡をする。連絡後ただちに支部名簿は変更する。
ただし、年会費についてはその年度は初めに払った支部にそのままその年度は計上することとする。
3. TEACCH プログラム研究会のホームページについて
次回、第 2 回理事会でくわしく審議することとなった。

事務局からのお知らせ

会則が改正されました。以下のように
変更が了解されています。御確認ください！

①平成19年6月より新規入会の方は

1000円の入会金が必要となります。

②平成20年度から年会費は1000円上がり

4000円となります。

どうぞよろしくお願いいたします。

各支部活動計画

北海道支部

北海道支部では、1月16日(火)支部総会が行われました。昨年度初めての試みとして実施した基礎講座を今年も実施いたします。基本的な内容の講義を行い、昨年度好評だった実習を2回実施する予定です。参加者には規模を小さくすることで、より深く実感していただければと考えています。昨年度同様に、たくさんの方の参加を期待したいと思います。

勉強会の予定は以下の通りです。

第1回	1月16日(火)	「TEACCH Supported Employment」DVDの視聴
第2回	5月19日(土)・20日(日)	「基礎講座 ー講義編ー」 講師 安倍 陽子 氏 (横浜市東部地域療育センター) 奥平 綾子 氏 ((有)おめめどう自閉症サポート企画) 会場 北海道教育大学函館校 定員 100名
第3回	7月 7日(土)・ 8日(日)	「基礎講座 ー実習編1ー」 講師 未定(現在調整中) 会場 北海道教育大学附属特別支援学校 きりのめの家

定員 20名

第4回 9月 8日(土)・ 9日(日) 「基礎講座 一実習編2一」
講師 未定(現在調整中)
会場 北海道教育大学附属特別支援学校 きりのめの家
定員 20名

第5回 11月10日(火) 実践報告 (*基礎講座参加者より)
会場 北海道教育大学函館校

《問い合わせ先》

TEACCH プログラム研究会 北海道支部 事務局

〒041-0802 函館市石川町90-7 北海道 発達障害者支援センター あおいそら内(井出)

Tel(0138)46-0851 / Fax(0138)46-0857 / E-mail aoisora@ms6.ncv.ne.jp

石川支部

- ・1月14日(日) 第5回 総会
講演会 新井田要さん
(金沢大学医学部小児科医師)
場所 金沢駅西健康ホール「すこやか」
- ・2月17日(土)～18日(日) 第8回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会(佐賀)
- ・3月10日(土) 9:30～12:30 第33回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫
・講師 岩本弘子さん(石川県教育委員会)
「石川県のこれからの特別支援教育について(仮)」
・事例検討会 アドバイザー 岡田真子さん(滋賀県心理士)
- ・4月22日(日)9:30～12:30 第34回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫
・講師 大杉晶子さん(まめっこ塾)「文字獲得までの基礎的な学習について」
・事例検討会
- ・5月13日(日)9:30～11:45 2007自閉症連続セミナー(基礎講座) 第1回
講演 藤岡宏さん(つばさ発達クリニック院長、精神科医)
「自閉症の人たちへの支援:～特性理解からのスタート」
場所 石川県地場産業振興センターコンベンションホール
- ・6月10日(日)9:30～12:30 第35回例会
場所 金沢市教育プラザ富樫
高校生の保護者から(仮)
- ・7月29日(日)13:30～16:00 2007自閉症連続セミナー(基礎講座) 第2回
講演 野畑光代さん(京都府立向日が丘養護学校教諭)
「わかるからできる、できると楽しい。自分でできるって気持ちいい。」
場所 石川県地場産業振興センターコンベンションホール(予定)
- ・9月30日(日)13:30～16:00 2007自閉症連続セミナー(基礎講座) 第3回
講演 門真一郎さん(京都市児童福祉センター副院長、児童精神科医)

「自閉症スペクトラムの人へのコミュニケーション支援」
 場所 石川県地場産業振興センターコンベンションホール(予定)

・10月21日(日)9:30~12:30 第36回例会

場所 金沢市教育プラザ富樫
 東京3daysトレーニングセミナー報告(森和代さん)他

・11月18日(日)9:30~11:45 2007自閉症連続セミナー(基礎講座) 第4回

講演 諏訪利明さん(海老名市立わかば学園園長)

「問題行動をどう理解するか」

場所 石川県地場産業振興センターコンベンションホール(予定)

・12月9日(日)9:30~12:30 第37回例会

場所 金沢市教育プラザ富樫
 実践報告会(仮)

付記:

2008年8月中旬 金沢にて「3days トレーニングセミナー」を開催する予定です。日程や場所は未定ですが、全体を指導して下さるコーディネーターを諏訪利明先生が引き受けて下さることに決定しています。参加者(トレーニー)は20人前後。指導者(トレーナー)は4人もしくは5人(諏訪先生をいれて)。そのほか講義を一般に公開し参加者を募ります。また、自閉症の子どもさんと保護者や青年たちの協力もお願いする予定です。裏方には50人以上必要で、事前の準備から当日の仕事までたくさんあります。皆様のご協力をお願いします。詳しくきまり次第随時、会報でお知らせします。

東京支部

1	2/4(日) 10:00~17:30	講演会 服巻智子先生	「自閉症への支援」 東京国立近代美術館 講堂
2	3/25(土) 12:30~16:30	定期総会 定例勉強会(基礎講座①) 岡田祐輔先生 他	「TEACCHプログラム概要」 「自閉症の特性~CARSをつかって」 飯田橋ボランティアセンター 会議室AB
3	5/20(日) 13:30~17:30	定例勉強会(基礎講座②) 岡田祐輔先生 他	構造化①「物理的構造化とスケジュール」 調布市文化センターたづくり 1001号室
4	7/ (日) 未定	実践報告・事例検討会1	未定
5	9/ (日) 未定	定例勉強会(基礎講座③) 岡田祐輔先生 他	構造化②「視覚的構造化とワークシステム」 会場未定
6	12/ (日) 未定	実践報告・事例検討会2	未定

・ 会場は、都合により変更することもあります。受講者の方には別途ご案内いたします。

お申込み

必要事項をお書き添えの上、メールまたはFAXにて下記事務局までお申し込みください。

必要事項:氏名・会員/非会員の別・郵便番号・住所・連絡可能な電話番号・メールアドレス・保護者/専門職/学生の別(専門職の方は職業、学生は学校名と専攻)

受講費

講演会： TEACCH プログラム研究会東京支部 会員→1,000 円
 一般→3,000 円
 定例勉強会・事例検討会： 会員→100 円 一般→500 円

……TEACCH プログラム研究会東京支部事務局……
 fax 0424-82-6755 (渥美)
 teacchtokyo@yahoo.co.jp(木下)
<http://teacch-tokyo.cocolog-nifty.com/blog/>

神奈川県支部

期日	内容	日時・会場
2月17日(土)～ 18日(日)	第八回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会 IN 佐賀	佐賀県立生涯学習センターアバンセ
3月6日(火)	【共通】神奈川県支部総会 ミニ講演会「高機能の人の居場所作りについて」 講師 日詰 正文	*ふきのとう 向生舎3階
4月18日(水)	【基礎】「コミュニケーション」 講師 諏訪 利明 ----- 【応用】「評価から構造化へ」	*ふきのとう 向生舎3階
5月16日(水)	【基礎】「コミュニケーション指導の実際 ～PECSを使った指導～」 講師 山田 兼右 ----- 【応用】「言語聴覚士から見たTEACCH」	*ふきのとう 向生舎3階
6月20日(水)	【基礎】「課題分析 -自立にむけて-」 講師 辻 裕二 ----- 【応用】「家庭での実践」	*ふきのとう 向生舎3階
7月14日(水)	【支部発足10周年記念講演会】「本当のTEACCH」 講師 内山 登紀夫	会場時間・未定
8月22日(水)	【合同】「地域でのインクルージョン実践」	*ふきのとう 向生舎3階
9月19日(水)	【基礎】「課題分析・自立課題」 講師 深水 綾 ----- 【応用】「幼稚園での実践」	*ふきのとう 向生舎3階
10月17日(水)	【合同】「余暇と社会的生活」 講師 安部 陽子	*ふきのとう 向生舎3階
11月16日(金)	【合同】「ノースカロライナにおける自閉症の人たちへの支援」 講師 梅永 雄二	*ふきのとう 向生舎3階
12月19日(水)	【基礎】「行動マネジメント」 講師 五味 純子 ----- 【応用】「学校での実践」	*ふきのとう 向生舎3階

*はすべて 18:30～21:00 会場 ふきのとう向生舎3F(大和市柳橋5-3-16)
 小田急江ノ島線 桜ヶ丘駅より徒歩 10分

TEACCH プログラム研究会 神奈川支部事務局
〒242-0022 神奈川県大和市柳橋 5-2-7 県央療育センター内 宇山
【TEL】080-3250-2115 【FAX】046-269-0067

【e-mail】teacchkanagawa@yahoo.co.jp

愛知県支部

愛知支部も結成から6年目を迎えました。講演会ばかりでなく、実践できる支援者を育てようと、毎年ミニトレセミの出来る体制を考えています。

愛知県出身の諏訪先生よろしくお祈りしま〜す。

(1)講演会

3月3日(土)総会と講演 服巻智子先生

5月13日(日)講演と実践報告 佐々木正美先生

(2)事例検討会

11月17日(土)コメント 岡田真子先生

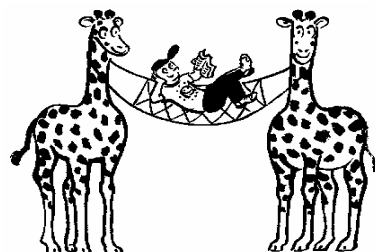
(3)ミニトレーニングセミナー 9月29(土)30(日)予定

(4)託児

(5)会報発行

(6)その他

*勉強会支援 *ホームページ作製 *ML提供



滋賀支部

TEACCH 研滋賀支部、独立2年目です。今年度は、障害者自立支援法、特別支援教育など、自閉症の人たちを取り巻く制度や状況が大きく動く中、行政、教育、福祉の分野での新しい取り組みの報告を中心に計画しました。

TEACCH研は、様々なライフステージ、様々な領域で自閉症に関わる人々で構成されている研究会です。例会では、報告を元にディスカッションをすることで、実践について学ぶとともに、自閉症の人への支援をトータルに考える機会となればと考えています。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

■ 3月10日(土)13:30~16:00 <障害者自立支援法~滋賀県の動向>

話題提供:滋賀県障害者自立支援課 田中 圭氏 場所:近江八幡人権センター

16:00~16:30 年次総会

■ 4月 7日(土)13:30~16:00 <コミュニケーション支援~八日市養護学校小学部の実践>

話題提供:滋賀県立八日市養護学校 原 宏和氏 場所:近江八幡人権センター

滋賀自閉症研究会たんぼぼ「自閉症理解のための連続セミナー」

◇ 5月12日(土)13:30~16:30 <自閉症の特性理解(仮題)>

海老名市立わかば学園園長 諏訪利明氏 場所:野洲文化ホール小劇場

◇ 6月17日(日)13:30~16:30 <受容性コミュニケーション(仮題)>

大阪府立藤井寺養護学校教諭 重松孝治氏 場所:近江八幡文化会館

◇ 7月 8日(日)13:30~16:30 <表出性コミュニケーション(仮題)>

大阪府立藤井寺養護学校教諭 重松孝治氏 場所:近江八幡文化会館

■ 9月 8日(土) 13:30~16:00 <高機能自閉症・アスペルガー症候群のグループホームから>

- 話題提供:グループホームかなざわ 松田裕次郎氏 場所:近江八幡人権センター(予定)
- 10月 6日(土) 13:30~16:00 <特別支援教育~高等学校からの報告>
- 話題提供:滋賀県立八幡工業高等学校 秋山茂也氏 場所:近江八幡人権センター(予定)
- 12月 1日(土) 13:30~16:00 <就学前の子どもの療育教室での取り組み>
- 話題提供:野洲市にこにこ教室 磯山ひろみ氏・滋埜有里子氏
- 場所:近江八幡人権センター(予定)

- ◇TEACCHプログラム研究会滋賀支部会員の参加が原則ですが、会員外の参加も受け付けていますので、関心のある方はご参加ください。(参加費:会員は無料、会員外は1000円。例会時に入会受付もしています。入会金1,000円※、年会費3,000円。) ※入会金は2007年6月1日より必要になります。
- ◇新入会員の方やTEACCHプログラムを基礎から正しく理解したい方には、「滋賀自閉症研究会たんぽぽ」の主催する「自閉症理解のための連続セミナー」への参加もお勧めします。なお、「連続セミナー」は「たんぽぽ」のご厚意により、TEACCH研会員は、たんぽぽの会員と同等の参加費で参加できます。滋賀支部の例会の一部として位置づけていますので、積極的にご参加ください。

<問い合わせ先> TEACCHプログラム研究会滋賀支部事務局 藤井 依子
FAX 077-562-8980 e-mail teacchshiga@oo.em-net.ne.jp

京都支部

1月20日(土)	13:30~16:50	①「構造化の実践例から」 京都府立向日が丘養護学校 澤 月子氏 ②支部総会
3月17日(土)	13:30~16:30	「家庭での取り組み」 京都府立南山城養護学校 岡部 松美氏
4月21日(土)	10:00~11:30	「DVDによる『就労支援』についての学習会」 「佐賀 実践研究大会の報告」
8月25日(土)	13:30~16:30	「作業所での支援」 社会福祉法人あらぐさ福祉会 職員
9月22日(土)	13:30~16:30	「生活場面における構造化の工夫」 洛西ふれあいの里更生園 前野 篤史氏
10月20日(土)	13:30~16:30	「養護学校の実践」 京都府立桃山養護学校 教員
11月	滋賀支部との合同企画 施設見学を検討中。日時は未定。	
会場	(社)自閉症協会京都府支部事務所 (上京区堀川通丸太町下がる京都社会福祉会館2階) 交通アクセス:地下鉄東西線「二条城駅」下車 徒歩5分 市バス「二条城」より北へ二条城北隣 市バス「堀川丸太町」交差点北西「ひまわり幼稚園」裏	
問い合わせ先	支部事務局:廣幡 顕一 teacch_kyoto@yahoo.co.jp	

大阪支部

5月26日(土) 第4土曜日	14:00~16:30	特別講座「自閉症の特性(コミュニケーション)」 京都児童福祉センター 医師 門 眞一郎氏
6月23日(土) 第4土曜日	14:00~16:30	「評価について」 堺市立御池台小学校 教諭 浅井 郁子氏
7月14日(土) 第2土曜日	14:00~16:30	「実践報告(家庭・学校との連携)」 保護者 井上輔希子氏 大阪市立中央小学校 教諭 万田久子氏
8月	日程未定	トレーニングセミナー 場所 わららか草部 の 予定
9月22日(土) 第4土曜日	14:00~16:30	「構造化について」 児童ディサービス an 指導員 田中有子氏
10月6日(土) 予定	14:00~16:30	「就労支援」 ①「サポーターシップ・エンプロイメント (援助付き雇用)」のDVDを見る ②ジョブサイトよど 職員 佐々木 祐介氏 アクトおおさか 高橋 亜希子氏
11月17日(土) 第3土曜日	14:00~17:00	公開講座 当事者からのお話 翻訳家 ニキ リンコ氏
12月8日(土) 予定	14:00~16:30	「幼少期の療育について」 SUN・WAVEの実践紹介
会場	場所 堺市堺区南瓦町 2-1 072-222-7500 堺市総合福祉会館 交通アクセス:南海電鉄高野線 堺東駅西口から徒歩 10分 11月公開講座の 会場は未定です	
問い合わせ先	支部事務局:萩の杜 haginomori@nifty.com 支部理事 浅井 郁子 asai0000@gold.ocn.ne.jp	

兵庫支部

●6月3日、といくらふと主催支援ネット in 丹波、共催

日時:2007年6月3日(日) 10:00~17:00

場所:篠山市四季の森生涯学習センター多目的ホール、および東館

<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/sisetu/siki01.html>

内容:セミナー及び機器展示・相談会

<多目的ホール>

《セミナー》11:00~12:00 はじめに 講師:島治伸 氏(徳島文理大学
元 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官)

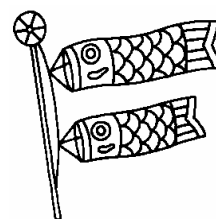
13:00~14:30 「自閉症のひとを支える」

講師:藤村出 氏(長野県障害者福祉センター所長)

15:00~16:30 「何故、今」

講師:畠山卓朗 氏(早稲田大学 人間科学学術院教授)

●10月20日(土)支部主催講演会 「ありのままの子育て」(仮) 明石洋子氏



鳥取支部

	支 部	鳥 取	境 港
1月		16日 休み(鳥取地区幹事会)	25日 年間の話し合い
2月	12日 総会		22日 輪読と本を読んでの感想と話し合い
3月		20日 研修報告	22日 自閉症の特性 輪読と話し合い 「感覚について」
4月		17日 講義自閉症の特性	26日 自閉症の特性 「認知について」
5月		15日 講義 IEP の立て方と概要	24日 自閉症の特性 「言葉とコミュニケーションについて」
6月		19日 講義「構造化」	28日 自閉症の特性 「社会性について」
7月	22日 講演会 佐々木正美先生 門真一郎先生 (ハワイアロハホール)		26日 自閉症の特性 「物理的構造化」
8月		21日 実践報告 鹿野かちみ園	23日 自閉症の特性 「ワークシステム」
9月		18日 実践報告 羽合ひかり園	27日 自閉症の特性 「視覚的構造化」
10月		16日 実践報告 鹿野第2かちみ園	25日 自閉症の特性 「見通しの伝え方」
11月		20日 実践報告 学校	22日 自閉症の特性 「コミュニケーションについて」
12月		18日 実践報告 家族	27日 反省会・忘年会
定例会		毎月 第3火曜日 時間 19:00~20:30 場所 鹿野かちみ園 会議室	毎月第4木曜日 時間 19:00~20:30 場所 陽なた *前半30~40分は勉強会、後半は輪読と話し合い。<輪読の書籍について>「アスペルガー症候群の子育て200のヒント」 ブレンダ・ポイド著 東京書籍

その他の研修会

- 1、自閉症理解のための研修会 主催：『エール』鳥取県自閉症・発達障害支援センター
講師 萩原拓先生（北海道教育大学）
3回シリーズ予定 5月27日(日) 8月5日(日)、10月28日(日)
- 2、基礎講座 主催：自閉症協会
5月20日(日)「自閉症の診断と特性」講師 鳥取療育園長 前岡幸憲先生
6月17日(日)「構造化」講師 倉吉養護学校 山本清美先生
7月 8日(日)「コミュニケーション」「問題行動」講師未定

香川支部

月 日	学習内容	講 師 (敬称略)
1月21日	平成19年度新規会員総会 サポートブックの進化～e-PPシステム～	特定非営利活動法人ふぁみりいNOTE 丸岡 玲子
3月18日	TEACCHプログラム概論 実践発表・社会性を育てる	香川大学教育学部附属養護学校 西村 健一
4月15日	座談会 新年度をスムーズにスタートするために	香川大学教育学部附属養護学校 馬場 広充
5月20日	実践研究大会報告 ----- 学校での実践報告	香川県立高松養護学校 池上 勝治 香川県立高松養護学校 頃末 広江
6月17日	自発的なコミュニケーションを育てる(仮)	香川県立高松養護学校 滝沢 健
7月22日	検査と評価方法を知ろう ～PEP-R の実際～	香川大学教育学部附属養護学校 西村 健一
9月16日	タイトル未定	あじの里地域生活支援センター 草原 比呂志
10月21日	★公開講演会 自閉症をもつ人への成人期に向けての支援 &成人支援の実際(仮) ※会員外の方も案内します	NPO法人それいゆ成人支援センター長 それいゆ作業所長 水野 敦之
11月18日	★1日研修会 自閉症への支援～構造化実習Ⅱ～ ※会員限定の例会となります	香川大学教育学部 坂井 聡
12月16日	自閉症への医療面からのアプローチ ----- 平成19年度末総会	香川大学教育学部 絵内 利啓

佐賀支部

これまでの活動を省みて佐賀支部では、次の方針で行うこととした。①様々な現場で良い実践している会員に講師を依頼し会の底上げを図る。②構造化や視覚支援の実際を学ぶための見学ツアーは好評だったので枠を増やす。③学習⇒実践⇒発表というプロセスを経て会員の実践力を強化する。④演習とアンケート形式による質疑応答を組み込み会員の主体的な参加と理解を促す。⑤外部講師を招聘し最新の自閉症支援の情報を学ぶ。そこで以下のような内容で実施する予定である。

期 日	内 容	講 師
4月21日	自閉症の特性と幼児期の支援	大島正子
5月19日	構造化による指導の概要	水野敦之
6月16日	自閉症支援におけるIEP	瀬尾裕子
8月未定	それいゆ施設見学ツアー	複数名で対応
9月15日	構造化された学習活動と移行支援	進藤久見子
11月17日	問題行動の理解と対応:行動療法	伊藤啓介先生

12月未定	佐賀大学付属養護学校見学ツアー	複数名で対応
1月19日	コンサルテーションと事例発表	水野敦之
2月16日	コミュニケーション講演会	服巻繁
3月29日	成人支援についての講演会	梅永雄二先生

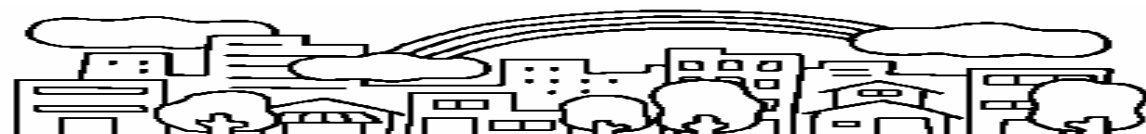
※ 基本的に活動日は、第3土曜日(講師などの都合により変更有り)

※ 佐賀支部の活動年度は、その年の4月から来年の3月まで

福岡支部

月日	活動内容
1月27日	講座「自閉症の特性と理解」 講師:井上哲雄氏(西南学院大学)
2月17日 ~18日	第8回TEACCHプログラム研究会実践研究大会 17日:それいゆTEACCH2デイ基礎講座 18日:講義・実践報告等
3月24日	実践報告「就労支援センターの取り組み」 講師:未定
4月28日	講座「構造化について」 講師:川原孝幸氏(TOUCH)
5月26日	講演会 講師:重橋史朗氏(Forza 代表)予定
6月23日	TOUCH主催講演会 後援 講師:門真一郎氏
7月28日	実践報告「作業所の取り組み」 予定 講師:未定
8月25日	講座「自立課題について」 講師:福澤亜紀子氏(TOUCH)
9月22日	フレンズ共同開催講演会 予定 講師:未定
10月	TOUCH主催講演会 後援 講師:未定
11月24日	講座「行動管理」 講師:未定
12月	講演会/19年度総会 講師:未定

※基本的に定例会は、第4土曜日の午後の予定ですが、講師等の都合により変更になる事もあります。
「TEACCH通信」でお知らせします。



熊本支部

日程、内容は変更する場合があります。

1月13日	実施済	ミニセミナー事前学習③	ミニトレーニングセミナー事前学習会
		総会	支部総会
		勉強会	「サポートブックの作り方」宮崎清美先生 (久留米市幼児教育研究所／はっとり心療クリニック)
2月17、18日	実施済	実践研究大会 in 佐賀	第8回 TEACCH プログラム研究会実践研究大会
3月2、3、4日	実施済	ミニトレーニング セミナー	「構造化とコミュニケーション」 諏訪利明氏(海老名市立わかば学園園長) 中山清司氏(京都市発達障害者支援センター)
4月21日	決定	ミニセミナー学習④	トレーニングミニセミナー報告A・Bグループ 熊本県立総合福祉センター
5月19日	決定	基礎講座Ⅰ	「特別支援教育について」 熊本大学教育学部 肥後祥治氏 熊本県立総合福祉センター
6月16日	決定	基礎講座Ⅱ (兼:ミニセミナー事前学習①)	「自閉症の特性と支援 教育と療育の現場から」 小田浩三氏(熊大付属養護学校) 岡本美由紀氏(熊本市発達相談室) 熊本県立総合福祉センター
7月21日	決定	基礎講座Ⅲ (兼:ミニセミナー事前学習②)	「構造化の実践(仮題)」 橋口美代子氏 (県立こども総合療育センター)
8月18日	予定	(兼:ミニセミナー事前学習③)	「コミュニケーションの評価と指導」 緒方よしみ先生(福岡市発達支援センター所長) (交渉中)
10月20日	予定	実践報告会 または講演会	学校、家族、施設
11月17日	予定	講演会または 実践報告会	未定(交渉中)
12月	予定	総会	支部総会
H20年	予定	ミニトレーニングセミナー	2月末～3月初旬を予定

9月～12月中に
「ソーシャルストーリー」
「コミック会話」についての講座を別
途予定しています。(講師等交渉中)

*スタッフ会議は各研修会後に必要に応じて実施予定

